

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立越谷東高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生徒・保護者や地域の期待やニーズを把握するために、生徒による授業評価や、学校自己評価に向けた生徒・保護者アンケートを実施している。学校に寄せられる期待に十分応え、学校の特色や強みを更に生かした、より明快かつ具体的な学校像となるように工夫していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が五つの柱として設定されている。やや網羅的な目標になっているので、学校の置かれた状況を適切に把握した上で、中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	企画委員会と分掌・学年が連携し、分掌等からの意見を吸い上げながら学校自己評価システムが運営されている。今後は、更に分掌・学年間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	重点目標達成のため、分掌・学年のシートが作成されている。方策の評価指標が、どのレベルを目指しているのかがやや不明確であるので、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすい指標になるよう検討し、方策を計画的に実施することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、学校紹介ビデオの制作や、一斉メール配信の積極的な活用などに取り組んでいる。教職員対象の学校アンケートを実施し、学校の課題を洗い出すなど、教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。学校関係者の意見やアンケート結果等を詳細に分析して新たな課題の析出や方策の見直しを検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			